

- 問1 平安京の所在地について、近畿地方の他の歴史的な拠点と比較した説明として正しいものはどれですか。(2024年 長野県公立入試 類似)
1. 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。
 2. 平安京は摂津国に位置し、難波宮(大阪)よりも西に位置する。
 3. 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。
 4. 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。
- 問2 源頼朝が成立させた鎌倉幕府と、その直前に権力を握った平氏政権の政治体制の違いについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。(2022年 三重公立入試 類似)
1. 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振ったが、源頼朝は征夷大将軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。
 2. 平氏は関東の武士を基盤に幕府を組織したが、源頼朝は京都の貴族と結びつくことで政治の主導権を握った。
 3. 平清盛は征夷大将軍として全国の武士を支配したが、源頼朝は執権という役職を新設して幕府の仕組みを整えた。
 4. 平氏は地方の武士の不満を背景に天皇に取って代わろうとしたが、源頼朝は平将門の乱を鎮圧した功績で政治の実権を与えられた。
- 問3 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2033年 和歌山公立入試 類似)
1. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため
 2. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため
 3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため
 4. 執権政治 — 将軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため
- 問4 平安時代の出来事である「空海による金剛峯寺の建立」「藤原純友の乱」「白河上皇による院政の開始」「平治の乱における源義朝の敗北」について、これらを発生した時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。(2020年 京都公立入試 類似)
1. 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北
 2. 藤原純友の乱 → 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北
 3. 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北
 4. 白河上皇による院政の開始 → 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北
- 問5 日本の歴史における仏教寺院の立地について、最澄が建立した天台宗の本山である延暦寺の所在地を説明したものとして正しいものを選びなさい。(2021年 長野県公立入試 類似)
1. 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある
 2. 関東地方の広大な平野の中に位置し、交通の要衝となっている
 3. 瀬戸内海から九州方面へ向かう海沿いの地域に位置している
 4. 東北地方の北部に位置し、当時の政治の中心地から遠く離れている
- 問6 平安時代の文化の特色として、漢字を簡略化したり一部を取ったりして発明され、女性による物語や和歌の発展に大きな役割を果たしたものを何といいますか。(2019年 富山県公立入試 類似)
1. 仮名文字
 2. 甲骨文字
 3. くさび形文字
 4. 梵字
- 問7 天皇家から分かれ、平高望を起点として平清盛へと続く系図に示されるような「平氏の出自」は、彼らが武士団として台頭する上でどのような役割を果たしましたか。その背景として最も適切なものを選んでください。(2023年 沖縄公立入試 類似)
1. 高貴な身分を背景に、他の武士をまとめ上げたり朝廷の政治に関わったりする根拠となった
 2. 地方の豪族と同じ立場であることを強調し、農民たちの支持を広く集める要因となった
 3. 天皇の血を引いていることを理由に、一切の軍事活動を禁じられ貴族文化に専念するきっかけとなった
 4. 源氏の末裔であることを証明することで、武家の棟梁としての正当性を主張する材料となった
- 問8 平安時代に行われた「院政」と「摂関政治」の違いについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。(2024年 栃木公立入試 類似)
1. 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。
 2. 院政は平氏や源氏などの武士が中心となって行う政治であり、摂関政治は公家を中心となって行う政治である。
 3. 院政は聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした政治であり、摂関政治は白河上皇が始めた新しい政治体制である。
 4. 院政は鎌倉に幕府を開いて行われた政治であり、摂関政治は京都の御所を中心に行われた政治である。
- 問9 平安時代における文化の展開や海外との交流を示す記録において、遣唐使が中国から茶を伝え天皇に献上したことなどが記されています。このような海外交流の変化と、国風文化の確立に関連する出来事の組み合わせとして適切なものを選びなさい。(2026年 京都府公立入試 類似)
1. 仮名文字の使用が広がり、日本国々の感情を表現する『古今和歌集』などの文学が成立した。
 2. 武士の台頭を背景に、琵琶法師が各地で『平家物語』を語り継いだ。
 3. 出雲の阿国が京都で歌舞伎踊りを披露し、庶民の間で爆発的な人気を得た。
 4. 織田信長が築いた安土城に見られるような、壮大で豪華な文化が各地に広がった。
- 問10 平安時代末期の1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立を背景に、摂関家や武士団も二手に分かれて戦った政変が起こりました。この争いをきっかけに武士の力が朝廷に認められ、その後の平氏政権の誕生へとつながる重要な歴史的出来事は何か。(2020年 愛媛公立入試 類似)
1. 保元の乱
 2. 平治の乱
 3. 承久の乱
 4. 応仁の乱
- 問11 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の妃(きさき)とし、生まれた子を次の天皇に立てることで権力を握りました。このように、天皇が幼い時に政務を代行する職と、成人の天皇を補佐する職を合わせて何と呼びますか。(2024年 大阪公立入試 類似)
1. 摂政・関白
 2. 執権・連署
 3. 征夷大将軍
 4. 太政大臣
- 問12 日本史の出来事を時系列に並べた際、894年の遣唐使の廃止より後で、かつ、藤原氏を外戚としない後三条天皇の即位(親政の開始)より前の時期に該当する出来事として最も適切なものはどれですか。(2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。
 2. 平清盛が太政大臣になり、武士として初めて政治の実権を握った。
 3. 白河上皇が院政を開始し、天皇に代わって政治を行った。
 4. 聖徳太子が摂政になり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
- 問13 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、かな文字を用いて書かれた長編物語の傑作と、その作者の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2023年 山梨公立入試 類似)
1. 源氏物語 — 紫式部
 2. 枕草子 — 清少納言
 3. 土佐日記 — 紀貫之
 4. 平家物語 — 信濃前司行長

答え合わせ・解説

問1	答え 1 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。	平安京が置かれた京都盆地（山城国）は、平城京が置かれた奈良盆地（大和国）の北側に位置しています。桓武天皇は、平城京での仏教勢力の政治介入を断ち切るために、まず長岡京へ遷都し、その後さらに条件の良い平安京へと都を移しました。難波（大阪）は平安京の南西、伊勢（三重）は南東に位置するため、地理的な位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問2	答え 1 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振ったが、源頼朝は征夷大將軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。	平清盛は1167年に太政大臣に就任し、貴族と同じような立場で政治を動かす道を選びました。これに対し、源頼朝は1192年に征夷大將軍に任命されることで、京都の朝廷とは距離を置いた鎌倉の地に独自の軍事政権である鎌倉幕府を確立しました。この違いは、武士が単なる貴族のガードマンから、独自の組織を持つ統治者へと進化した過程を示しています。なお、平将門の乱は10世紀の出来事であり、頼朝の時代より200年以上前であるため、選択肢の背景としては不適切です。
問3	答え 1 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問4	答え 1 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北	平安時代初期の9世紀初め、嵯峨天皇の時代に空海が真言宗を開き、高野山に金剛峯寺を建立しました。その後、10世紀半ばの平安中期には、地方政治の乱れを背景に瀬戸内海で藤原純友の乱が起きました。11世紀末になると、白河上皇が摂関政治を抑えるために院政を開始し、その権力争いの中で武士が中央政治に進出します。そして12世紀半ばの1159年、平治の乱で源義朝が平清盛に敗れたことで、平氏の権力が決定的なものとなりました。
問5	答え 1 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある	延暦寺が置かれた比叡山は、広域的な地域区分では近畿地方に該当します。滋賀県と京都府の県境付近という、当時の都であった平安京から見て北東（鬼門）の方角に位置していたことが、この地に建立された歴史的な要因の一つです。
問6	答え 1 仮名文字	漢字を日本風に崩したり簡略化したりして作られた「かな（仮名）」が普及したことで、漢字では表現しにくかった日本人の微妙な感情を書き表すことが可能になりました。これにより『源氏物語』や『枕草子』などの優れた文学作品が生まれました。
問7	答え 1 高貴な身分を背景に、他の武士をまとめ上げたり朝廷の政治に関わったりする根拠となった	平安時代の社会では血統が極めて重視されました。平氏が単なる地方の武装集団に留まらず、広範な武士団を組織し、最終的に政権を握ることができたのは、彼らが「天皇の子孫」という貴族的な身分を併せ持っていたからです。この権威があったからこそ、各地の武士を配下に収めることができ、また朝廷内でも高い官職を得て政治の実権を握ることが可能になりました。
問8	答え 1 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。	摂関政治は、藤原氏が娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父（外戚）として摂政や関白の地位に就き実権を握る仕組みでした。これに対し、院政は藤原氏と血縁関係の薄い後三条天皇の後の白河上皇が、藤原氏の影響を排除するために自ら政治を主導した仕組みを指します。
問9	答え 1 仮名文字の使用が広がり、日本固有の感情を表現する『古今和歌集』などの文学が成立した。	平安時代は、前期に遣唐使を通じて中国（唐）の文化や茶などの嗜好品がもたらされましたが、後期にかけてはそれらを基盤とした日本独自の国風文化が確立されました。特にかな文字の普及は、貴族社会において繊細な感情を表現することを可能にし、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や女流文学の隆盛をもたらしました。他の選択肢にある『平家物語』は鎌倉時代、出雲の阿国や安土城は安土桃山時代に関する内容であり、時代が異なります。
問10	答え 1 保元の乱	平安時代末期の朝廷内における権力闘争において、源氏や平氏といった武士が実力行使の主体として動員されました。この戦いを通じて武士の軍事力が政治を左右することが明確になり、貴族中心の政治から武士が主導権を握る時代へと移行する決定的な契機となりました。この直後に起こる平治の乱を経て、平清盛による武家政権が築かれていくこととなります。
問11	答え 1 摂政・関白	藤原氏は天皇の母方の親戚（外戚）となることで政治の実権を握りました。天皇が幼少の間は「摂政」として、成人してからは「関白」として政治を主導したため、この二つの職を合わせて「摂関」と呼び、この政治形態を摂関政治といいます。鎌倉時代の北条氏による「執権」とは時代も仕組みも異なります。
問12	答え 1 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。	平安時代は、遣唐使の廃止による国風文化の発展、藤原氏による摂関政治、上皇による院政、そして武士の台頭という流れで進みます。道長の活躍は11世紀初めであり、遣唐使廃止（9世紀末）と後三条天皇による親政や白河上皇の院政（11世紀後半）の間に位置します。平清盛の活躍はさらにその後の12世紀のことです。
問13	答え 1 源氏物語 — 紫式部	平安時代中期には、日本の独自の風土や感覚を重んじる「国風文化」が開花しました。かな文字の発達により、女性による文学作品が多く生み出され、紫式部が宮廷生活を題材に書いた『源氏物語』はその代表作です。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆であり、『土佐日記』は紀貫之が女性に仮託して書いた日記、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。